

令和5年度 青果物・畜産生産販売状況 【11月30日現在、推定含む】

作物名	重量(kg、本)					販売金額(千円)					単価(円)			生育状況、販売状況
	5年計画	4年実績	5年実績	前年対比	計画対比	5年計画	4年実績	5年実績	前年対比	計画対比	4年実績	5年実績	前年対比	
山の芋	110,000	63,182	67,676	107%	62%	40,000	34,834	32,868	94%	82%	551	486	88%	定植は4月下旬に始まったが、田植え後の天候不順により6月中旬までかかった。5月上旬の低温により、初期生育は緩慢に推移した。6月上旬に高温であった為5月定植と6月定植の生育差はあまり見られず肥大期までに十分な葉の量を確保できたが、肥大期前半高温少雨で推移し、後半に水分が入ったため、玉伸びは順調だが形状は乱れた。堅調な単価で推移したが、下位等級が多く前年を下回る販売額となった。
アスパラ	100,000	71,617	60,802	85%	61%	120,000	87,843	72,416	82%	60%	1,227	1,191	97%	出荷開始はハウス栽培が4月3日から始まり、露地が4月下旬と例年通りのスタートとなった。露地は4月下旬の降霜被害、5月上旬の低温により春どりが大きく減収した。夏どりは7月は順調に推移したが、8月の高温少雨により品質低下と大幅な収量減となった。病虫害は茎枯病とハスモンヨトウによる被害が多く、適宜防除を呼びかけた。
枝豆	231,000	152,693	116,198	76%	50%	120,000	66,536	59,658	90%	50%	436	513	118%	8月の高温少雨により中生・晩生種において、花とび及び生育ムラ等により、収量が大幅な減少となった。関東市場の品薄感により、お盆以降は高値で推移した。
キュウリ	300,000	212,321	205,751	97%	69%	60,000	48,946	53,327	109%	89%	231	259	112%	8月上旬までは出荷量、生育ともに順調に推移していたが、その後の高温により果形の乱れ、樹勢の低下が見られるようになり出荷量は伸び悩んだ。販売については、全国的な品薄から堅調な単価で推移した。
ネギ	358,000	174,715	173,203	99%	48%	100,000	55,865	55,425	99%	55%	320	320	100%	定植は順調に推移したが、6月の梅雨によるべと病・黒斑病により生育が遅れた圃場が散見された。その後、猛暑により生育は停滞、出荷開始から細物傾向でスタートした。また、高温が続き適切な管理が出来ない生産者も多く、土寄せ不足や雑草による品質・収量の低下が多く見受けられた。全国的な品薄から堅調な単価で推移した。
大館とんぶり	43,700	43,523	26,509	61%	61%	35,869	34,743	21,738	63%	61%	798	820	103%	4月下旬より播種作業が開始され、苗の生育は順調に推移した。5月下旬から定植作業が開始され順調に推移していたが、7月の降雨により定植作業が遅れた。また、8月からの高温少雨による不稔や8月下旬から9月中旬にかけてハスモンヨトウが大発生したことにより、収穫量が大幅に減少し、11月末で生・真空の販売が終了となった。
トマト	30,000	20,714	19,756	95%	66%	8,400	7,691	7,319	95%	87%	371	370	100%	8月下旬頃までは順調な収穫量であったが、それ以降は高温による花落ち・着果不良等により出荷量は減少した。出荷も9月下旬で終了と早い切り上がりとなった。
シシトウ	7,500	7,520	6,275	83%	84%	6,750	7,923	8,202	104%	122%	1,054	1,307	124%	8月からの高温少雨により果形が悪いものが散見された。また、一部圃場ではハスモンヨトウの食害を受けたこともあり、前年を下回る出荷量となった。品薄傾向で推移したため堅調な単価で推移した。
カボチャ	20,000	14,130	13,860	98%	69%	2,400	2,524	2,474	98%	103%	179	178	100%	定植は例年通り開始され、1部圃場で着果不良等が見受けられたが、概ね大きな病虫害被害も無く順調に進んだ。品薄傾向で推移したため堅調な単価で推移した。
小玉スイカ	20,000	17,169	15,329	89%	77%	7,000	6,872	5,627	82%	80%	400	367	92%	交配後は降雨により病害の発生や裂果目立った。収穫期には高温晴天が続き、つるの枯れが早く、玉焼けが多く収穫量は減少した。
山菜	10,000	8,164	8,000	98%	80%	6,000	6,032	6,000	99%	100%	739	750	102%	掘り取り作業は終了したが、猛暑の影響は見受けられず順調に伏せ込み中。2月上旬より出荷開始予定。
キャベツ	25,000	0	0	#DIV/0!	0%	1,375	0	0	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	-	-	定植時の高温少雨により半数の苗が枯れ、その後の生育も緩慢に推移し結球しなかった。
スナップエンドウ	9,000	6,074	7,442	123%	83%	9,000	6,245	8,263	132%	92%	1,028	1,110	108%	定植期の強風と降霜で芯止まりが散見された。そのため、樹勢が低下しピークを迎えないまま出荷終了となり、出荷量は伸び悩んだ。また、秋スナップについては、高温の影響で作付けを見送った。全国的な品薄から堅調な単価で推移した。
オクラ	4,400	2,909	4,145	142%	94%	2,640	2,083	2,740	132%	104%	716	661	92%	他品目と違い高温により生育は順調に推移した。採りもれが散見されたが、前年を上回る出荷量となった。全体的に出荷量が潤沢であったため厳しい販売となった。
その他	-	-	-	-	-	12,290	9,032	1,086	12%	9%	-	-	-	
そさい計	1,268,600	794,731	724,946	91%	57%	531,724	377,169	337,143	89%	63%	-	-	-	
花卉	137,000	108,817	95,000	87%	69%	21,150	21,212	16,920	80%	80%	195	178	91%	(ダリア)6月の気温が高めで推移したことから初期生育は良好だったが、8月の高温により株落ち等の生育不良により、9月の出荷量が減少し前年を下回った。全国的な作付減と高温による物不足で堅調な単価で推移した。
菌茸	1,900	2,014	1,000	50%	53%	1,900	2,132	1,070	50%	56%	1,059	1,070	101%	9月以降も高温により出荷量が伸び悩んだが、現在は気温も下がり出荷量が増加してきた。品薄傾向で推移したため堅調な単価で推移している。
りんご	60,000	96,494	30,896	32%	51%	10,000	15,622	5,341	34%	53%	162	173	107%	霜害が1~2割。高温により日焼けが多く、また着色不良となった。鳥獣被害も多数発生し、出荷量は平年を大きく下回った。全国的に同様であり「ふじ」の販売単価は平年以上となった。
なし	140,000	179,322	84,290	47%	60%	33,000	44,297	29,033	66%	88%	247	344	139%	霜により開花中の花が大きな被害を受け、選果所の出荷実績は平年の5割程度となった。全国的に霜や高温により品薄で、価格はシーズンを通して高値であった。
合計	1,607,500	1,181,378	936,132	79%	58%	597,774	460,432	389,507	85%	65%	-	-	-	

作物名	羽数・頭数					販売金額(千円)					生育状況、販売状況
	5年計画	4年実績	5年実績	前年対比	計画対比	5年計画	4年実績	5年実績	前年対比	計画対比	
比内地鶏	150,000	125,994	158,723	126%	106%	330,000	318,586	373,723	117%	113%	8月の暑さで約1,500羽が被害にあった。と体重も大きく落ち、1羽当たりの単価が減少したが、計画通りに推移している。現在は鳥インフルエンザへの防疫体制を徹底している。
和牛	50	38	57	150%	114%	30,000	21,724	25,299	116%	84%	市場価格が低下しているため、販売額は計画を下回る見込みとなっている。今後は牛舎の衛生管理の徹底を図る。
産直	-	-	-	-	-	251,000	237,420	252,924	107%	101%	春は前年産果実の販売も多く、また山菜類が早く店頭に並び順調な売上となった。その後、降霜や高温干ばつの被害を受け果菜類・果実は大きく収量減となったが、その天候不順は逆に価格帯を押し上げて、産直品も高単価を維持したことで目標を上回る見込みとなっている。
水稲種子	-	-	-	-	-	100,000	99,720	99,514	100%	100%	春先から好天に恵まれ、田植えは平年並みに進んだものの、いもち病感染好適日が多く葉いもち病の発生が確認されたが、その後の徹底防除により穂いもちも確認されなかった。8月以降長期間の猛暑により登熟期間中は高温で推移したことから、登熟が早まりふ割粒が多く見られた。契約数量は当初計画通り生産された。